

レビューシート

様式 2

レビュー項目 (事業名)	ユニバーサルツーリズム推進事業				部(局)	産業労働部
					所管課	観光振興課
					担当班	観光企画班
					連絡先	078-362-3375
開始年度	令和4年度	終了年度	-	関連計画等	-	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公社) ひょうご観光本部等
事業目的	年齢や障害の有無等に関わらず様々な人が気兼ねなく旅行を楽しめるユニバーサルツーリズムを推進することで、高齢者・障害者等が「行きたいところ」に旅行できる環境の整備を進めるとともに、新たなマーケット開拓等による観光産業の成長を図る。					
事業概要	ユニバーサルツーリズムを推進するため、観光関連事業者等を対象とした人材育成や「宿泊施設の宣言・登録制度」による受入体制の強化、モニターツアー等による情報発信、観光関連事業者の経営管理層を対象にしたセミナー等による機運醸成を展開する。					
これまでの改善状況	令和5年6月から「宿泊施設の宣言・登録制度」(「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言・登録制度)の運用を開始。ユニバーサルツーリズムの推進に向けた宿泊施設を取組を促進するため、令和5年12月補正予算で宣言施設に対するバリアフリー改修支援を拡充(まちづくり部予算)したほか、ハード面以外の課題を解消するため、筆談タブレット、シャワーチェア等の備品導入や従業員の接客研修受講費等を支援するソフト面の支援も実施					
業務フロー	補助金交付申請(実施主体)→受付・審査(県)→補助金交付決定(県)→事業実施・補助金実績報告(実施主体)→受付・審査(県)→補助金交付(県)					

区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	0千円	12,898千円	13,291千円	14,143千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	0千円	12,561千円	12,339千円	12,662千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	337千円	952千円	1,481千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(12,898千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(13,291千円)	(14,143千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	12,898千円	13,291千円	14,143千円
	執行率((①/②)×100)		-	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員 0.0人		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人
		0千円		4,129千円	4,310千円	4,341千円
		職員給与費 a	0千円	3,568千円	3,748千円	3,780千円
賞与引当金繰入額 b		0千円	292千円	286千円	292千円	
退職手当引当金繰入額 c		0千円	269千円	276千円	269千円	
総コスト(①+③)		0千円	17,027千円	17,601千円	18,484千円	

レビューシート

様式 2

指標名		区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	-	-	10	20	50	
	「宿泊施設の宣言・登録制度」登録宿泊施設数(累計)	実績(見込)	-	-	(44)	(54)	【R9年度】	
		(単位当たりコスト)	-	-	(400千円)	(342千円)		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目 標	-	20	40	60	120	
	「ユニバーサルツーリズムコンシェルジュ」認定人数(累計)	実績(見込)	-	17	(39)	(60)	【R9年度】	
		(単位当たりコスト)	-	(1,002千円)	(451千円)	(308千円)		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目 標	-	200	400	500	800	
	おもてなし研修参加者数(累計)	実績(見込)	-	207	(438)	(538)	【R9年度】	
		(単位当たりコスト)	-	(82千円)	(39千円)	(32千円)		
標	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	-	4	4	4	4	
	モニターツアー開催回数(単年度)	実績(見込)	-	(4)	(4)	(4)	【R9年度】	
		(単位当たりコスト)	-	(4,257千円)	(4,400千円)	(4,621千円)		
終期設定		(有) 令和9年度)					無	
改善基準		登録宿泊施設数の達成率が50%を下回る場合は登録基準を見直し						
自	評価の視点		評価			目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		宿泊施設・旅行会社の現況調査及び高齢者・障害者等のニーズ調査結果等を踏まえた制度設計や事業企画等を行うことで、市場ニーズや当事者ニーズに対応した有効な事業を展開している。			・高齢者・障害者等が「行きたいところ」に旅行できる兵庫の実現に向け、全国初のユニバーサルツーリズム推進条例(令和5年4月1日施行)に基づき、受入体制の充実・情報発信・機運醸成等に向けた事業を展開している。 ・令和5年度はすべての指標において目標を達成し、特に「宿泊施設の宣言・登録制度」の登録施設数は目標を大きく上回った。		
己	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		障害当事者の参加を得るモニターツアーやおもてなし研修など高い専門性が求められる事業の実施には民間事業者のノウハウを活用するなど、効率的に事業を推進している。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
評	説明							
	「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言・登録制度のソフト支援の活用が低調となっており、また、おもてなし研修等への観光関連事業者の参加が広がらないなどの課題がある。今後、国内外から多様な旅行者が来訪する2025年の大阪・関西万博等を見据え、より多くの宿泊施設に宣言・登録制度の周知を図り制度への参画を促すなど、受入体制の整備や情報発信のさらなる強化を図っていく。							
価	課題・今後の方向性							
	説明							
外	改善結果							
	・「神戸2024世界パラ陸上」で機運も上がったので、バリアフリー化等の体制を整えることと合わせて、このタイミングをうまく活用すべき。 ・ソフト支援の活用が低調となっているが、要件であるチェックリストのクリア項目数のハードルが高ければ、20項目以下の施設(小規模な施設等)も対象に広げてはどうか。 ・成功事例も積み重なってきているので、共有し取組を広げていければ良いのではないかと。 ・ユニバーサルな観光モデルコースを作成し、事例やモニターツアーを発信できれば良いのではないかと。 ・宿だけでなく、観光施設にもフォーカスをあててはどうか。ユニバーサルな観光施設など、ユニバーサルな〇〇を今後増やしていければ良いのではないかと。 ・京都府京丹後市に車椅子で梨狩り等ができる果樹園があり、そのような取組も参考にし、ユニバーサルな果樹園を認定しても良いのではないかと。 ・指標の目標設定は難しいが、年に1回宣言施設へアンケートを実施し、どれだけ利用があったのか把握はしておくべき。							
員	改善結果							
	・県HPや「HYOGO!ナビ」のユニバーサルツーリズム特設ページで、研修・モニターツアー等の情報提供、宿泊施設への「ユニバーサルなお宿」制度周知、ユニバーサルツーリズムに積極的な地域の取組紹介等、積極的に情報発信を行い、観光関連事業者の取組を促していく。 ・ソフト支援の要件はチェックリストのクリア項目数が20項目以上34項目以下であることだが、現時点で「ユニバーサルなお宿」参加施設にクリア項目数が20項目以下の施設はないため、R7年度以降は、下限ではなく上限を撤廃し、35項目以上の施設も対象とする。 ・R6年度からユニバーサルツーリズムに積極的に取り組む観光地を「ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア」(通称「ひょうごユニバーサルな観光地」)として指定し、モデル的に支援する事業を実施している。 ・アンケート実施については、宣言施設にヒアリングを行ったところ、「障害者等の利用者数を把握するのは難しい」との意見があったため、ユニバーサルなお宿HPから宿泊施設のHPへのリンクのクリック数の推移を分析するなど、効果の検証方法を検討							